

平成23（2011）年度
熊本大学大学院法曹養成研究科

第1期募集

（小論文試験問題）

試験時間 120分

頁 … 1～5

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
2. 試験開始後ただちに、問題用紙（この表紙を含めて6枚）、解答用紙（3枚）、下書き用紙（5枚）が揃っていることを確認してください。
3. 解答用紙のすべて（3枚）に受験番号を記入してください。なお、氏名は記入しないでください。
4. 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入してください。解答用紙のホッチキスは、外さないでください。
5. 配付された解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
6. 試験終了後、問題用紙および下書き用紙は持ち帰ってください。

課題文を読み、下記の問題に答えなさい。なお、いずれの問題も法的知識を問うものではありません。

問題1 【課題文1】を読み、年金問題が2007年参議院選挙の主要な争点になったことに関する著者の見解について300字以上400字以内で要約しなさい。

問題2 【課題文2】を読み、国民年金保険料の納付率が減少していることに関するあなたの意見を、【課題文3】に示された著者の視点も踏まえて、600字以上800字以内で述べなさい。

【課題文1】

(この部分につきましては、著作権の問題により、公開できません。)

(出典：宇野重規『<私>時代のデモクラシー』(岩波新書・2010年)106-109頁より抜粋。原文縦書き。なお、見出し及び文章の一部を省略している。)

【課題文2】

(この部分につきましては、著作権の問題により、公開できません。)

(出典：「国民年金納付率60%割れ 昨年度4年連続で低下 雇用情勢の悪化響く」日本経済新聞2010年8月6日朝刊(縮刷版)より抜粋。なお、図表や見出しを省略している。)

【課題文3】

(この部分につきましては、著作権の問題により、公開できません。)

(出典：宇野重規『<私>時代のデモクラシー』(岩波新書・2010年)122-126頁より抜粋。原文縦書き。なお、見出し及び文章の一部を省略している。)